

《巻頭特集①》

DMOの役割と東観推の取組み

●観光地域づくり法人（DMO）とは？

観光地域づくり法人は、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する地域経営の視点に立った観光地域づくりの司令塔として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人です。

（観光庁HP：観光地域づくり法人（DMO）より抜粋）

●東北域内（6県+新潟県）には、広域連携DMO1法人、都道府県DMO7法人、地域DMO45法人（候補DMO含む）が各地域で活動を行っています。

東北域内のDMO（県別DMO一覧表）



7県の登録DMO 53法人	広域連携DMO 1法人
※候補DMO含む	都道府県DMO 7法人
	地域DMO 45法人

秋田県（7団体）

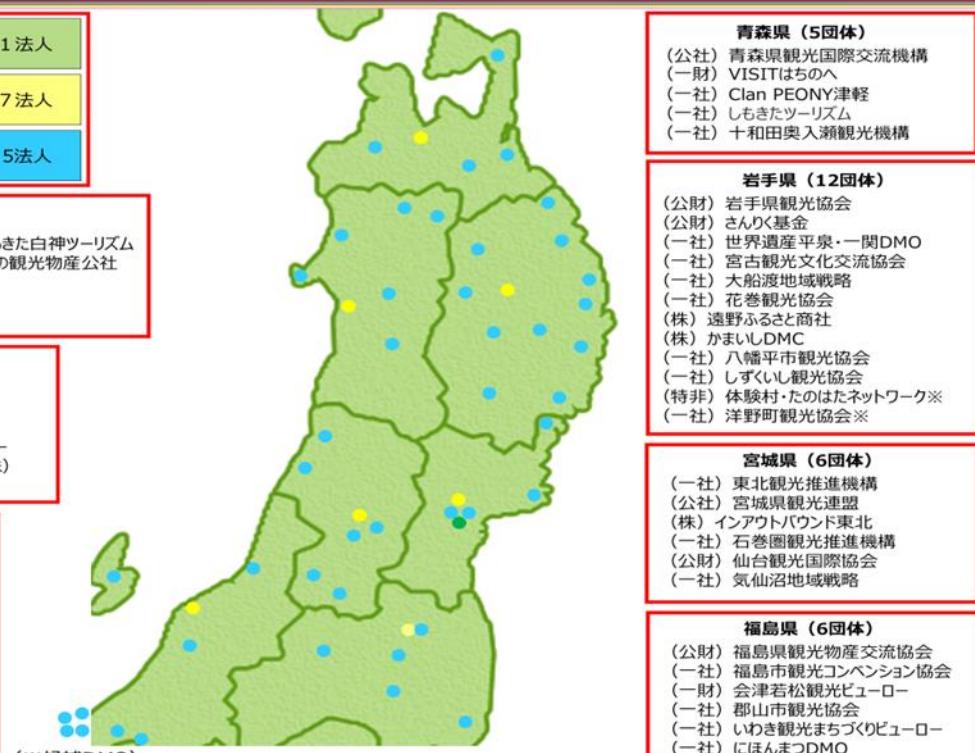
- （一社）秋田県観光連盟、（一社）あきた白神ツーリズム
- （一社）秋田犬ツーリズム、（株）かづの観光物産公社
- （一社）横手市観光推進機構
- （株）おが地域振興公社
- （一社）田沢湖・角館観光協会

山形県（7団体）

- （公社）山形県観光物産協会
- おもてなし山形（株）
- （一社）やまとがたアルカディア観光局
- （一社）DEGAM鶴岡ツーリズムビューロー
- （公財）酒田DMO、プラットヨネザワ（株）
- （一社）上山市観光物産協会※

新潟県（10団体）

- （公社）新潟県観光協会
- （一社）雪国観光圏
- （一社）信州いいやま観光局
- （一社）新発田市観光協会
- （一社）糸魚川市観光協会
- （一社）妙高ソーリーズムマネジメント
- （一社）佐渡観光交流機構
- （一社）南魚沼市観光協会
- （一社）湯沢町観光まちづくり機構
- （一社）弥彦観光協会



青森県（5団体）

- （公社）青森県観光国際交流機構
- （一財）VISITはちのへ
- （一社）Clan PEONY津軽
- （一社）しもきたツーリズム
- （一社）十和田奥入瀬観光機構

岩手県（12団体）

- （公財）岩手県観光協会
- （公財）さんりく基金
- （一社）世界遺産平泉・一関DMO
- （一社）宮古観光文化交流協会
- （一社）大船渡地域戦略
- （一社）花巻観光協会
- （株）遠野ふるさと商社
- （株）かまいしDMC
- （一社）八幡平市観光協会
- （一社）いわきいし観光協会
- （特非）体験村・たのはなネットワーク※
- （一社）洋野町観光協会※

宮城県（6団体）

- （一社）東北観光推進機構
- （公社）宮城県観光連盟
- （株）インアウトパワード東北
- （一社）石巻圏観光推進機構
- （公財）仙台観光国際協会
- （一社）気仙沼地域戦略

福島県（6団体）

- （公財）福島県観光物産交流協会
- （一社）福島市観光コンベンション協会
- （一財）会津若松観光ビューロー
- （一社）郡山市観光協会
- （一社）いわき観光まちづくりビューロー
- （一社）いほんまつDMO

© 2025 TOHOKU TOURISM PROMOTION ORGANIZATION

2025年8月1日現在

（観光庁HP：観光地域づくり法人（DMO）より抜粋）

●観光地域づくり法人（DMO）の区分

※10/1より施行される観光地域づくり法人の登録制度に関するガイドラインに基づく区分

「広域連携DMO」

地方ブロックレベルの区域を一体とした観光地域において、マネジメントやマーケティング等を行うことにより観光地域づくりを行う組織

「都道府県DMO」

単一都道府県の全域を対象とした観光地域において、マネジメントやマーケティング等をおこなうことにより観光地域づくりを行う組織

「地域DMO」

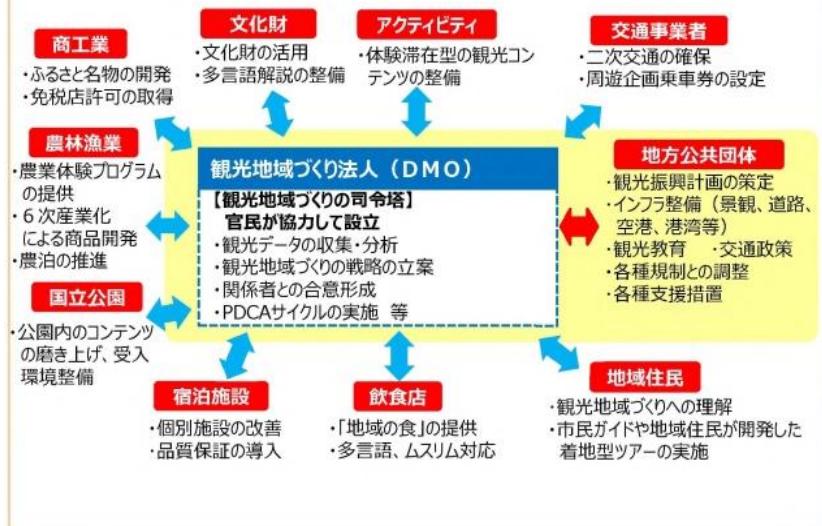
単一市区町村の区域並びに複数市区町村にまたがる地域を一体とした観光地域において、マネジメントやマーケティング等を行うことにより観光地域づくりを行う組織

（観光庁HP：観光地域づくり法人（DMO）より抜粋）

●観光地域づくり法人（DMO）の役割

地域の関係者を巻き込んだ体制の構築

観光地域づくり法人(DMO)を中心とし、地域の関係者が主体的に参画した体制を構築



地方誘客・旅行消費拡大

観光による受益が広く地域にいきわたり、
地域全体を活性化

(観光庁HP：観光地域づくり法人（DMO）より抜粋)

●広域連携DMOとしての東観推の取組み

誘客プロモーションは、東北全域内全体（いわゆる“面”）で連携して実施することで、より高い効果が得られます。東観推は「オール東北」の旗振り役として、台湾で毎年実施している「日本東北遊楽日」をはじめとした海外旅行博の実施やその他の海外旅行博への出展、海外のインフルエンサー・海外旅行会社等の招請事業、商談会等を実施しています。また「東北観光DMP」による広域マーケティング分析や「旅東北HP」「TOHOKU Fan Club」、SNSなどの情報プラットフォームの活用をはじめ、域内外の行政や会員及び各種団体との連携により、魅力ある東北の情報を発信し、東北への訪日旅行者の増加に取組んでいます。



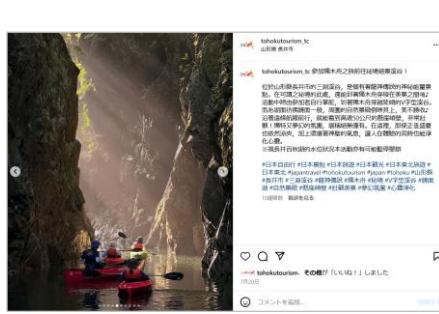
【日本東北遊楽日（台湾）】



【商談会・学校相談会（台湾）】



【海外のインフルエンサー招請】



【JNTO海外事務所への情報提供（英語）】
「TOHOKU travel information」

【Instagramによる情報発信】

【TOHOKU Fan Clubによる情報発信】

●域内の都道府県DMO・地域DMOとの連携

東観推では「東北域内DMO会議」や「DMO訪問」等をはじめとし、様々な場面で東北域内のDMOと連携し、東北・新潟への誘客促進に取組んでいます。

☆東北域内DMO会議

東北域内のDMOが一堂に会する「東北域内DMO会議」を年2回開催。会議では東観推の事業計画等の共有のほか、地域での取り組み事例の紹介や現状課題等について、意見交換を行っています。



☆DMO訪問

東観推と域内DMOの事業連携や課題などについての議論をより深堀りすることで、オール東北での誘客促進を加速させることを目的に、個別訪問を実施しています。今年度も、域内44団体のDMOを訪問中です。



☆東北観光DMP操作勉強会

東北観光DMPは、域内のDMOをはじめ、2024年度からは一部の基礎自治体からの利用も開始しています。操作方法や活用方法については、県主催の操作研修会や「東北観光DMP担当者会議」などで操作勉強会を開催し、操作技術の向上及び利用促進を図っています。



☆地域で造成されたコンテンツの情報発信

域内DMOが造成した着地型コンテンツを商流に乗せるために、旅行会社やランドオペレーターとマッチングする商談会の開催や、造成された観光・体験コンテンツの情報などを東観推の旅東北HPへ掲載するなど、地域の情報を発信しています。



☆その他の連携

- ・大阪・関西万博における東北プロモーション事業の実施
 - ・海外のメディア、インフルエンサー、旅行会社招請等の現地受入れ
 - ・日本東北遊楽日等の旅行博における出展や情報発信
 - ・各種商談会等の参加
 - ・各種事業における東北誘致（AdventureWeek2025等）
 - ・フェニックス塾における観光人材育成等
 - ・アドベンチャートラベルにおけるワークショップ開催
 - ・ガイド育成研修等
- 様々な事業で域内DMOと連携し、オール東北で観光地域づくりを共に進めています。



東観推は広域連携DMOとして、世界から選ばれる持続可能な観光地「TOHOKU」をめざして、地域への経済効果、循環に寄与できる仕組みを各地域の行政や観光関係団体等と一体になって推進しています。

《巻頭特集②》会員総数35,000人（国内約29,500人、海外約5,500人）突破！

東観推会員特典

観光PRやマーケティングに「TOHOKU Fan Club」をご利用ください！

東観推では、正会員・賛助会員の皆様への特典として、「TOHOKU Fan Club」を活用した「PR記事の配信」及び「アンケートシステム」のご利用が可能です。ぜひ、この機会に会員の皆さまの地域観光PR、マーケティングに「TOHOKU Fan Club」をご活用ください！

★「TOHOKU Fan Club」とは？

東観推が2021年12月に立ち上げた、東北愛あふれる方々が集うファンコミュニティです。会費などは不要で、国内外に約35,000人（2025年8月1日現在）の会員が東北の観光情報を心待ちにしています。

東北ファンとのコミュニケーションツール



「TOHOKU Fan Club」
= 強力なマーケティングツール（CRM）です



PR記事の配信で情報拡散！

東観推会員企業様や東北各地域の魅力をPR記事として配信しています。



アンケート調査で市場調査！

国内外の東北ファンに向けて、アンケートによる市場調査が可能です。

* CRM=Customer Relationship Management(顧客関係管理)の略

特典その1

正会員・賛助会員さまのPR記事を無料で配信しています

★国内外35,000人のファンにアピール！

国内外約29,500人、海外約5,500人の東北ファンに、御社や東北各地域の魅力をPRできます（写真の掲載や御社HPやイベントページ等へのリンクも可能）。

★年3回（賛助会員さまは年1回）まで完全無料！

正会員の皆さまは、年3回まで無料でご利用可能です。（通常一回3万円）

★日本語・繁体字・英語・タイ語に対応！

TOHOKU Fan Clubは、日本語・繁体字・英語・タイ語に対応しています。世界をターゲットに御社をPRできます。

特典その2

アンケート調査をご利用いただけます（特別価格）

★東北ファンの声を直接アンケート！

国内外約29,500人、海外約5,500人の東北ファンの生の声をアンケートで集めることができます。

★今だけ！破格でご提供！

通常、10問15万円～のところ、今だけ半額でご提供いたします。（詳細はご相談ください）

<日本語アンケート>

<繁体字アンケート> <英語アンケート>

<タイ語アンケート>

日本語・繁体字・英語・タイ語でのアンケート実績

	①投稿（年度毎）	②アンケート
利用料	<会員特典> 正会員：3回まで無料 賛助会員：1回まで無料 <通常> 3万円／回	10問まで 15万円 - 7.5万円 + ポイント原資
		30問まで 35万円 - 17.5万円 + ポイント原資

東観推 地域戦略部までお問い合わせください

022-721-1291



brand@tohokutourism.jp

7月活動一覧

◆インバウンド

・Japan Expo Paris 2025 (7/3~6)

7/3~6まで、フランス・パリで開催された日本文化をテーマにした大規模なイベント「Japan Expo Paris 2025」にJR東日本パリ事務所と共同出展し、一般消費者向けに東北の認知度向上・興味喚起のためのプロモーションを行いました。

若年層の関心を引くポップで魅力的なブースデザインやノベルティ、東北に関するクイズ形式のアトラクションなどのアプローチが功を奏し、当ブースは終始多くの来場者が絶えないほど大盛況でした。特に、東北に関するクイズは、多くの方々が熱心に参加され、スタッフとのコミュニケーションを通じて、東北各地の地名や観光地について新たな理解を深めていただきました。

また、「Tohoku Fan Club」への新規ご登録も多数いただき、今後は継続的な情報発信を通じて、東北への関心を維持・促進し、実際の来訪へとつなげてまいります。



【ブースの様子】



【ブースを訪れる来場者】



【ネットワーキングイベント】

・マルセイユにおける訪日観光ネットワーキングイベント (7/1)

「Japan Expo Paris 2025」に先立って行われた旅行関連事業者とのネットワーキングイベントに出展を行いました。

このイベントは、在マルセイユ日本国総領事館のご協力によりJNTOの共催で実施され、日本側からは広域連携DMO、都道府県DMO、自治体、農泊団体、フランス側からは南仏の旅行会社、航空会社が参加しました。

東観推は、JR東日本のパリ事務所と共同出展し、東北に関するプレゼンテーションならびにブース出展を行いました。「東北のことは知らなかったが、プレゼンテーションを聞いて初めて知った。ぜひ今度行ってみたい。」とのコメントを多数いただきました。

マルセイユはフランスにおいてパリに次ぐ第二の都市ですが、パリ周辺地域に比べると、訪日経験者の割合が低い傾向にあります。本イベントを通して現地の旅行観光事業者に日本への関心を高めていただき、今後主要都市以外からの送客の一助として努めてまいります。

・香港ブックフェア2025 (7/16~22)

岩手県、秋田県、福島県、仙台市と連携し「香港ブックフェア2025」に東北ブースを出展しました。このイベントは、人口約750万人の香港において約100万人が来場する香港最大級のイベントです。

香港は訪日旅行者が多く、一人あたりの訪日回数も高いことで知られています。そこで、次回の目的地として東北を選んでいただけるよう、関心を高めることを目的に、東北の銘菓や飲料の試食・試飲、観光パンフレットを活用した観光案内などを行いました。

「東北の夏祭りに行ってみたい」「仙台から福島へサイクリングするにはどのルートが良いか」といった具体的な旅行プランに関するご相談もありました。

一方で、東北を訪れたことがない方や、仙台-香港間の直行便の存在を知らない方も多く、東北に関する認知度向上や、より一層の情報発信の必要性を改めて認識する機会となりました。

今回の出展では多くの来場者の皆さんと直接対話をする機会があり、継続的な情報発信の重要性を実感いたしました。

今後も香港からの旅行者に東北の魅力が広く伝わるよう、現地メディアや旅行会社と連携し、東北が次の旅行先として選ばれるよう努めてまいります。



【ブースの様子】



【ブースの様子】

7月活動一覧

◆インバウンド

・韓国旅行会社招請 (7/8~7/11)

韓国市場への東北の魅力発信を目的に、韓国のトレッキング専門旅行会社2社2名を招請し、宮城県内で視察を実施しました。

韓国ではアウトドアアクティビティを目的とした旅行の需要が高く、東北においては秋から冬の紅葉の季節のトレッキングやスキーが人気です。今回の視察では、グリーンシーズンにおける東北の多様な魅力を伝えるべく、宮城県内のトレッキングコースや宿泊施設を中心にご案内しました。

また、近年韓国で急速に需要が拡大しているパークゴルフにも注目し、矢本海浜緑地パークゴルフ場(東松島市)、やくらいパークゴルフ場(加美町)、気仙沼市パークゴルフ場をはじめ、各地の観光施設や飲食店など魅力的なスポットの視察も行いました。視察先では関係者の皆さまとの活発な意見交換も行われ、貴重な情報交換の場となりました。

視察に参加された韓国の旅行会社からは、パークゴルフの国内需要が高まり各施設の収容力を上回る状況にあること、さらに今後は海外のパークゴルフ場への関心が一層高まる可能性があるとの情報提供がありました。こうした新たな需要も視野に入れつつ、引き続き韓国市場への積極的なプロモーション活動に取組んでまいります。



【パークゴルフ場視察】

・シンガポールBtoB/BtoCセミナー開催 (7/18~19)

東北の認知度向上と旅行商品の造成促進を目的に、青森県、秋田県、山形県、福島県、仙台市と連携し、シンガポールにてBtoBおよびBtoCセミナーを開催しました。現地の旅行会社や一般消費者との接点を通じて、東北の観光素材の魅力を伝えるとともに、今後のプロモーション方針を検討する上でも多くの示唆を得る機会となりました。

旅行会社16社、メディア2社が参加した「BtoBセミナー」では、東北全体と各県市の魅力を紹介。セミナー終了後には商談も行われ、ネットワーク構築や今後の商品造成に向けた活発な意見交換が行われました。旅行会社からは「東北に興味はあるが、消費者の認知度が低いため提案が難しい」との声があり、一般消費者への訴求が今後の商品造成・販売の鍵になることが改めて明らかになりました。また、「他地域と比べて東北には地域の明確なイメージが浸透していない」といった課題も共有され、今後は象徴的な魅力づくりが求められます。



【BtoBセミナーでの商談】

一般消費者向けの「BtoCセミナー」には、2回、計156名が参加。訪日経験のある日本文化への関心が高い層が多く、パンフレットを熱心に読む姿や、ブースでの積極的な質問が見られました。「東北にはまだ行ったことがないが興味はある」という方が大半で、ハネット衣装の試着や、七夕飾り体験などのコンテンツが興味喚起のきっかけとして有効に機能しました。イベント参加後のアンケートでは、94%が「東北への訪問意欲も高まった」と回答しており、消費者向けの取組みとしても一定の成果が得られました。



【BtoCセミナー】

今回の事業を通じて、シンガポール市場における東北への関心と成長の可能性が明らかになりました。今後も旅行会社との連携を深めつつ、一般消費者への発信を更に強化し、東北を次の目的地として選んでいただけるよう取組んでまいります。

・タイガーエア台湾 仙台↔高雄新規就航記念セレモニー (7/16)

7/16より、タイガーエア台湾が仙台国際空港と高雄国際空港との直行便を運航開始しました。東北と高雄を結ぶ直行便は初めてで、月・水・土の週3日運航します。

就航を記念して、就航初日には記念セレモニーが行われ、東観推進本部長が参列しました。また、初便で到着した約150名の乗客を到着ロビーでお出迎えし、会場は熱気と賑わいに包まれました。

この新たな路線により、台湾と東北との交流が一層深まり、台湾の多くの方々に東北の魅力・感動をお届けできるよう、東北観光をより広く発信してまいります。



【テープカットの様子】

7月活動一覧

◆教育旅行

- ・東北教育旅行セミナー札幌会場 / JR北海道共催 (7/1)

ホテルモントレエーデルホフ札幌にて「東北教育旅行セミナー」を開催し、道内の旅行会社や学校関係者、東北側事業者など、約120名の皆様にご参加いただきました。

第1部では、東観推や東北6県、JR東日本、JR北海道より東北教育旅行の魅力をプレゼンテーションしたほか、第2部では東北側事業者と道内の旅行会社との商談会、学校関係者と各県の担当者等との個別相談会を実施しました。相談会の参加者からは「発表を聞き、東北での修学旅行も検討したい」といったお声をいただきました。

- ・全修教全国大会 (7/23)

九段会館テラス（東京）で開催された全国修学旅行研究大会に参加しました。主催の全国修学旅行研究協会からは、近年の教育旅行の動向について発表があったほか、シンポジウムでは、港区の公立中学校による海外修学旅行の事例発表や、修学旅行におけるアレルギー対応の重要性など、今後の修学旅行のあり方について活発な議論が交わされました。学校関係者や旅行会社ら約120名が来場された中、東観推ではブースを出展し、東北教育旅行のPRを行いました。

- ・東北教育旅行セミナー東京会場 / JR東日本共催 (7/24)

品川プリンスホテルにて「東北教育旅行セミナー」を開催し、首都圏の旅行会社や学校関係者、東北側事業者・自治体関係者など、約130名の皆様にご参加いただきました。

東京会場では会場を2つに分け、セミナーおよび商談会を実施しました。セミナーでは、東観推や東北6県・新潟県がそれぞれ地域の魅力を紹介したほか、JR東日本より「東北復興ツーリズム推進ネットワーク」の取り組みについてプレゼン発表を行いました。第2部の商談会は、両会場とも活発な交流が行われ、参加した事業者からは「商談が成立し、次年度の予約につながった」とのお声をいただきました。



【セミナーの様子】



【シンポジウムの様子】



【商談会の様子】

◆会議

- ・2025年度第1回DMP・デジタルプロモーション担当者会議 (7/4)

東北観光DMP及びデジタルプロモーションの自治体担当者を対象とした合同会議をハイブリット形式（対面・オンライン）で開催しました。

第1部ではデジタルプロモーションに関する情報交換や、SNSによる情報発信、観光・旅行情報サイト「旅東北」の運用について共有しました。

第2部では東北観光DMPを利用する域内DMO担当者を加え、東北観光DMPの概要・基本操作についての研修会を実施しました。

第3部では東北観光DMP活用の課題などについて自治体担当者と意見交換を行いました。今後も担当者間の連携を密にし、東北観光DMPを活用したオール東北での観光DXを推進してまいります。



【会議の様子】

- ・広域行政観光推進会議 (7/25~26)

秋田県秋田市ホテルメトロポリタン秋田にて、東北6県、新潟県、仙台市の観光担当部局長、他の皆さまと会議を開催し、東観推の「2025年度事業の取組み状況」や「第6期中期計画骨子（案）」などについて意見交換を行いました。



【会議の様子】



【視察の様子】

翌日は、秋田市から中心市街地観光の取組みをご紹介いただき、「千秋蓮まつり」や「ねぶり流し館」などの視察を行いました。

東北観光推進機構からのお知らせ

●以下のHP・SNSなどで情報提供を行っています。

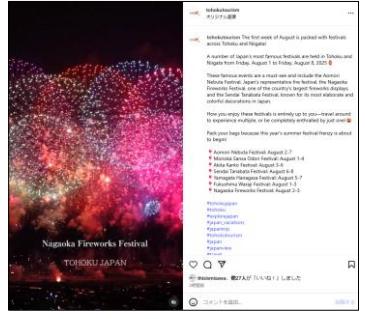
	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (日本東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.facebook.com/tohokutourism.tw/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Facebook (Go Tohoku Thailand) タイ語版】 https://www.facebook.com/tohokufuntrip	
	【Instagram (Tohoku Tourism_Japan) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_japan/	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_tc/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【Weibo (日本東北玩樂GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



【高山稻荷神社（青森県）】



【きりたんぽ作り体験（秋田県）】



【動画：東北の夏祭り】

◆Instagramにおける「#東北PR局」を付けた投稿のお願い◆

東北の観光に関する投稿の際には、ぜひ「#東北PR局」をつけてご投稿ください。「#東北PR局」をつけて投稿いただいたものの中から、素敵なお写真をリポストさせていただきます。（リポスト前にはメッセージで許諾を取らせていただきます）

リポストは東北観光推進機構のInstagramとFacebook（旅東北 東北観光推進機構）の両方で投稿します。

外国人向けフリーバスチケット「TOHOKU HIGHWAY BUS TICKET」

訪日外国人を対象に東北域内の高速バスと一部の一般路線バスがチケット有効期間中、乗り放題となる企画乗車券「TOHOKU HIGHWAYBUS TICKET」を販売しております。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

【発行】(一社) 東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階 【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp
【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

